

2021年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第4回 6月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (西岡)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は、前年より少なく、平年より多かった。

前年	2020年6月1日	(7点の平均)	88.6 個/m ³
前回	2021年5月18日	(7点の平均)	43.8 個/m ³
今回	2021年6月1日	(7点の平均)	64.9 個/m ³
※6月上旬の平年値			54.5 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は、前年および平年より少なかった。

前年	2020年6月1日	(7点の平均)	18.1 尾/m ³
前回	2021年5月18日	(7点の平均)	2.9 尾/m ³
今回	2021年6月1日	(7点の平均)	3.4 尾/m ³
※6月上旬の平年値			9.5 尾/m ³

○プランクトン調査

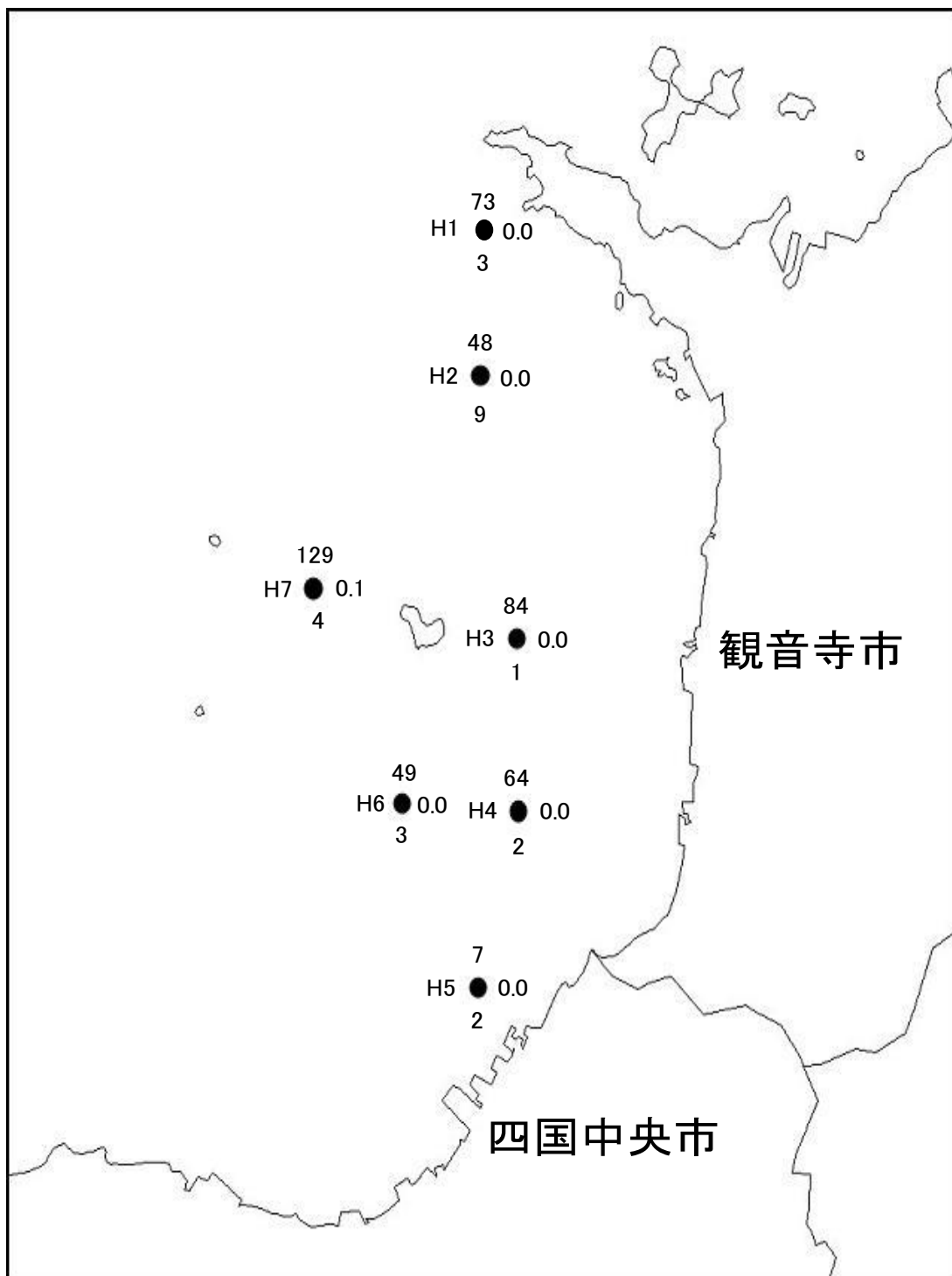
プランクトン量では、ほとんどの定点でミジンコ類あるいは夜光虫(ノクチルカ)が優占した。カタクチイワシの餌となるカイアシ類は一点でのみ優占したが、量は平年よりも少なく、昨年と同程度であった。

○カブトクラゲ調査

前年よりやや多かった。

次回の調査は6月16日(水)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2021/6/1)



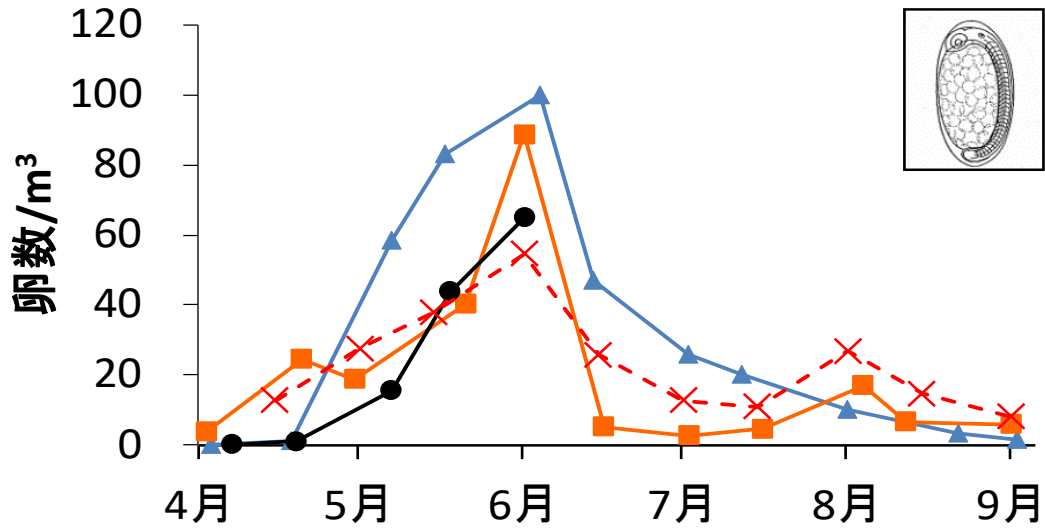
●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m³)を、
 下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/m³)を、
 右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m³)を示す。

21 ← 卵密度
 カイアシ類
 凡例 ● 0.6 ← 密度
 5 ← 仔魚密度

※カイアシ類量は、プランクトン採集量

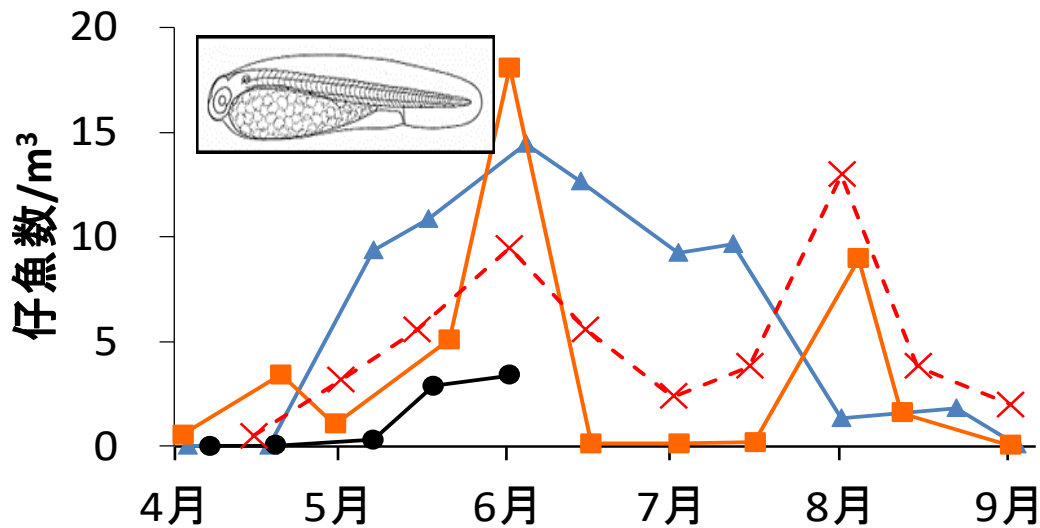
(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。



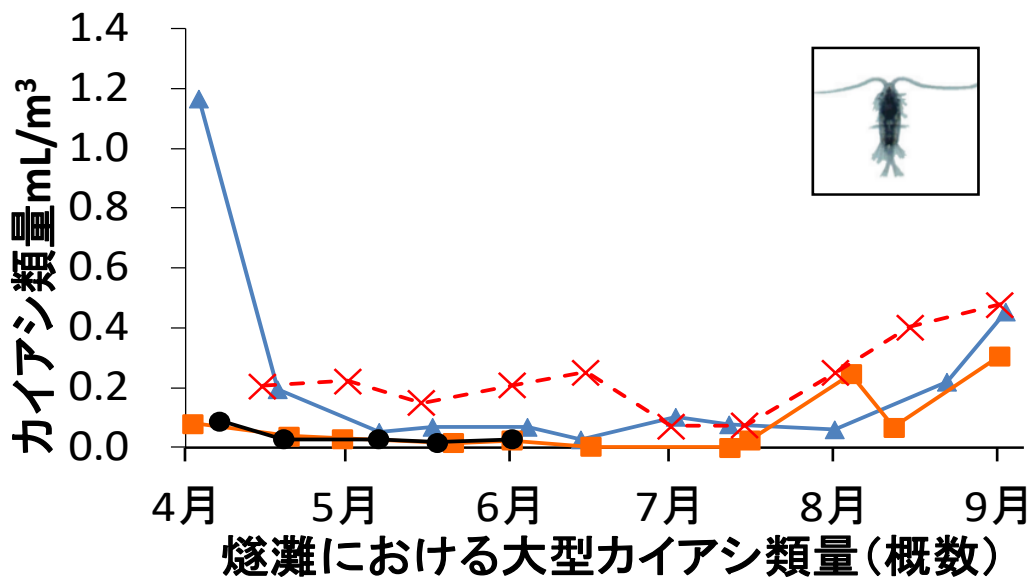
燧灘におけるカタクチイワシ卵数

▲ 2019年 ■ 2020年 ● 2021年 -×- '01-'20平均値

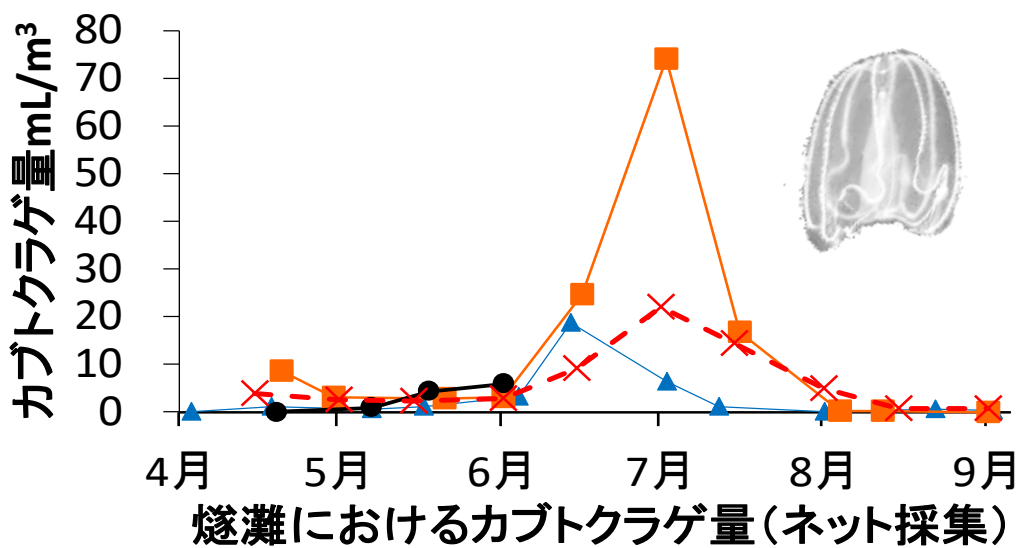


燧灘におけるカタクチイワシ仔魚数

▲ 2019年 ■ 2020年 ● 2021年 -×- '01-'20平均値



▲ 2019年 ■ 2020年 ● 2021年 -×- '01-'20平均値



▲ 2019年 ■ 2020年
● 2021年 -×- 15-'20年平均値

※カイヤシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイヤシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カブトクラゲは丸特Bネットによる全定点の平均採集量。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任は負いません。

2021年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(4回目)

調査日: 2021/6/1

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	19.4	172	0	8	8	0	3
H2	20	20.3	118	0	0	21	0	1
H3	20	20.3	240	0	2	2	0	1
H4	20	21.6	188	0	1	7	0	5
H5	20	20.4	22	0	5	5	0	2
H6	20	21.4	186	0	1	10	0	0
H7	20	19.5	345	0	4	12	0	1
平均		20.4	182	0	3	9	0	2

※卵稚仔数は採集数を示す。